

CAFE BALCONY CAFE

CAFE BALCONY

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY

カフェ・バルコニーの家

通信

平成 24 年 4 月号 (第 23 号)



「カフェ・バルコニーの家通信」
平成 24 年 4 月号をお届けします。
さくら前線が北上し、春の訪れも
真近かです。

背筋をぴんと伸ばし、外へ出て、
爽やかな空気を、暖かな日差しを
浴びましょう。



「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介



3 月の元気回復勉強会が行われました。

3 月 3 日(土)、元気回復勉強会がありました。メンバー 7 名、家族 4 名、スタッフ 2 名が参加しました。今回は参考書第 4 章のテーマである「統合失調症は不治の病とは言えません」を川副先生の講義と参考書の読み進めで学びました。

以前は統合失調症は良くならない病気といわれてきましたが、服薬をすることにより、少なからず回復する病気であるという内容でした。

また講義の中で精神科の薬は止められないとは言えない、実際一度飲んでもやめられるという例もあると川副先生から話がありました。また最初のたったの 1 錠が問題であるとの話もありました。服薬の問題は精神障害を克服する上で、重要なことだと実感しました。

(高橋秀明)





退院促進フォーラムに行ってきました。

3月17日(土)、精神障害者の地域生活推進ネットワーク・ちば主催の退院促進フォーラムでお弁当を販売するため、メンバー9名、ボランティア6名、スタッフ4名が準備から参加しました。フォーラムは川副先生の司会進行により、講演が行われました。講演を聞くお客様は全部で50名ほどでしたが、雨の中多くのお客様に足を運んでもらえたと思います。講演内容は後半しか聞けなかったのですが、議論する場が形骸化し議論がなされず物事が決定してしまう現実があるということが言われていました。前段は聞けなかったのですが、ものごとはやはり皆で考え皆で結論を出したことからこそ皆が責任を持ってそれを進めることができるのだと思います。このことを肝に銘じ自分たちも話し合うことを大切に、またそれが形骸化しないように議論が生産的に働くよう活かす事に努めたいと思いました。

又、講演の休憩時間に奏でられるチェロとバイオリンの演奏がありましたが、素晴らしい演奏で、会場全体が聴き惚れました。
(高橋秀明)



水曜にパソコン勉強会が行われています。

3月14日(水)パソコンの3回目の授業がありました。参加者はメンバー4名でした。

初回はPCに不慣れなこともあり自分にできるのか不安でしたがExcelをやってみたくいうので参加してみましたが、講師の武藤先生が自分のレベルに合わせてくださり、第一回目は加減乗除や最低限の操作の仕方からわかりやすく親切に教えていただき、自分でもやれそうという希望がもてました。

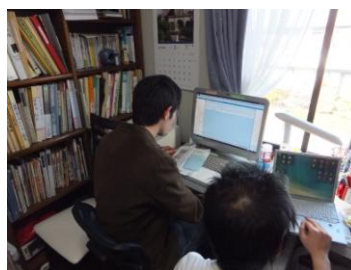
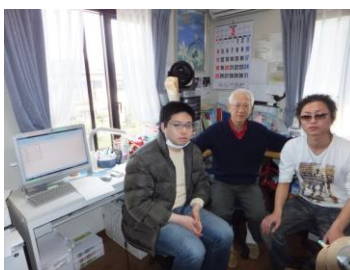
第二回目はパスワードのかけ方や実際に社会に出て使う技術などお話しを聞くだけでとても勉強になり、これから社会復帰できるようになろうとよりいっそうやる気ができました。

第三回目の今回は日付のつけ方とその編集を習いました。毎回楽しくとても勉強になりました。

先生やこうやってPCの勉強の機会を与えてくださったカフェバルコニーの家のみなさんにとっても感謝しています。

ぜひこれからもPCの技術を少しでも身につけ、みなさんの役に立てるようになりたいと思います。

(T.I.)





「NPO 法人よしかわたすけあい」加藤理事長が来られました。

さわやか福祉財団（理事長堀田力）には、全国を 13 ブロックに分け 181 人（2012 年 2 月現在）のインストラクターが、住みよい地域社会を作るために協働しています。NPO 法人カフェ・バルコニーの家の理事長藪下敦子も、当会の理念である”社会に適応し難い方の社会的自立”には住みよい地域社会を作ることが必要との見地から、さわやか福祉財団と目的を同じにする為、181 人のインストラクターの一人として参加、協働しています。

2 月 20 日さわやかインストラクター・北陸ブロックの、加藤正子さんが「全国協働戦略会議」参加に先立ち、当会を訪問してくださいました。今回はその感想等をお伺いしました。

実は当会の「地域の茶の間」は加藤さんが理事長をしておられる「NPO 法人よしかわたすけあい」の地域の茶の間をモデルにしています。

藪下：当会の地域の茶の間は実は加藤さんのところの地域の茶の間をモデルにしているのですが、ちょっと違います。

加藤：おっしゃる通り、カフェ・バルコニーの家はレストランという形で、私どものところは地域の高齢者が集まって、あるいは遠方の方は送迎して、1 日ゆっくり過ごすという形で、スタッフも一緒にご飯を食べます。

藪下：私たちも「地域の茶の間」をスタートした平成 22 年 9 月から 3 か月間は、当会のメンバーも地域の方も一緒にランチを食べていました。大きなテーブルで共通の話題を話し、初対面の人もここで友達になり、障害を持っている方の実像を見ていただくことから、差別と偏見がなくなり、それがひいては、住みよい地域社会を作るのだというという考えでした。しかしお客様から「落ち着かない。ゆっくり仲間内で食事を楽しみたい。」という声が出て、現在のように、レストラン形式で、お食事を提供するという形になりました。

加藤：皆が皆同じ環境でないので、同じ方向を向かなくてもいいのではないですか？

藪下：加藤さんのところの様子をもう少し詳しく教えてください。

加藤：場所利用代として 300 円。これだけ支払う人もいます。田舎って家にご飯がある人もいます。ふらっと来て楽しんで帰ります。

お昼ご飯を食べる場合は 500 円です。体操をしたり、おしゃべりを共にしたり、講師の話の聞いたり、一緒に作ったりします。遠方の方は送迎付きですから途中で帰れません。

藪下：当会はテーブル間の交流が少ないことが私の悩むところです。

加藤：食を通じての話題ができる。きっかけができれば口コミでお食事がおいしいといううわさが広まる。お客様の口コミでいいのでは？居場所がこんなでないといけないという事ではないと思います。

藪下：当会に何かアドバイスをいただければありがたいです。

加藤：ホットな温かい居場所を心掛けてください。来てくださる方を、その人らしく尊厳しましょう。

藪下：ありがとうございました。





メンバーからのメッセージ



人生ここにありの映画の感想

精神病院の中の組合が一人の派遣組合員によって組織され、患者たちは一応働く場所を得る。社会の圧力の中で挫折を味わい、とんだ禁制をつかまされ、一時的な後退の見せかけの中だけでも、彼らは勇気を取戻す。そしてもう一度働こうと心に決め立ち向かっていく。そういう熱血作品であった。

(N. T.)



土壌改良材のリーダーとして

このたび土壌改良材のリーダーになりました。

最初は自分につとまるか不安でいっぱいでしたが、周りのメンバーのサポートもあり、何とかここまでやってこれました。土壌改良材は土に養分を与え、野菜や草花の成長に大きく役立ちます。

特にカフェバルコニーの土壌改良材は廃棄物である米ぬか、コーヒーかすを使い、糖蜜で発酵させて作成するため、製造過程においても炭酸ガスを排出せず、環境にもたいへんやさしい製品です。

私たちが作った土壌改良材で多くの植物がたくさん育つことを願ってやみません。まだまだ至らないところもあると思いますがこれからもがんばっていきたいと思いますので、今後とも、カフェバルコニーの家の土壌改良材をよろしくお願いします。

(K.T.)



新メンバーからのあいさつ

3月からカフェバルコニーの家の正式会員になったKと申します。2月から体験入会をしました。1ヶ月間は体験入会期間なので正式会員になれるように自分のできる限りのことをしました。初めはどのような場所なのか、どのようなメンバーがいるのか不安でたまりませんでした。緊張からか頭が真っ白になることもありましたが、理事長をはじめ他のスタッフの方々の支えもあり、日に日にカフェバルコニーの家に行くことが楽しくなりました。現在、仕事をしていく中で一番意識していることは自分の仕事に対して優先順位をつけ、効果的かつ効率的に仕事をしていくことです。そして、自分が必ず社会復帰をするという強い覚悟をもって仕事に取り組んでいこうと考えています。また、仕事を通じて自分の可能性を見つけるためにもこれから頑張っていこうと思います。(S. K.)



カフェバルコニーの家からのお知らせ



1. NPO 法人「カフェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、ご支援下さる
平成 24 年度賛助会員を募っています。
入会金 2,000 円 年会費 3,000 円(1口)です。
賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事に
ご招待いたします。
2. 「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる応援団を募集しています。
年会費 1,000 円(郵便振替 郵便振替 00180-2-322417
NPO 法人カフェ・バルコニーの家)振込用紙は各郵便局にあります。
詳しくは郵便局で。又は「カフェ・バルコニーの家」にご持参下さい。
3. 4月7日(土)10:00~11:30 神奈川県立精神医療センター芹が谷病院院長
川副泰成先生を迎え、「元気回復勉強会」を開催します。
ご家族に加えて、メンバーの参加も可です。参加費は無料ですので是非ご参加
ください。
4. 自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために当会の活動に体験参加
できます。(体験料 1日 200円)
5. 当会で2年間調理、接客訓練を受けた方は、**国家資格・調理師試験の受験
資格が得られます。(調理実習免除)**



1年間賛助会員として、活動を支援いただきありがとうございました。
平成 24 年度も引き続きご支援をよろしく願いいたします



佐久間喜代志様、平澤泰明様、川崎保規様、中山葉子様、今井由美子様、
大山敬子様、田井潤蔵様、白田様、伊原昭様、安藤様、千葉ケア企業組合様、
藤田一巳様

<カフェ・バルコニーの家 通信 第22号 3月号>

- 発行場所 : カフェ・バルコニーの家
千葉県美浜区磯辺3-5-7
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 藪下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- Email : cafe-balcony.mihama@cnc.jp